

基本目標 10 国際化時代にふさわしい厚生労働行政を推進すること

施策目標 1 国際機関の活動に対し協力すること

1-I 国際労働機関が行う技術協力に対し積極的に協力すること

<実績目標>

・開発途上国における雇用開発、女性の就業・雇用機会の拡大に貢献すること

【評価指標：プロジェクトの対象人数、プロジェクト参画者からの事業評価】

・開発途上国の労働基準の向上のためのセミナー等を通じて、健全な労働環境の整備に貢献すること

【評価指標：参加者数、参加者等からの事業評価】

・アジア太平洋地域技能開発計画（APSDPEP）への協力を通じて、アジア太平洋地域の職業能力開発の向上に貢献すること

【評価指標：APSDPEP活動への貢献状況（支援事業等の事業参加者数、関係者からの評価等）】

評価予定					備考
H14	H15	H16	H17	H18	
実績	実績	実績	実績	実績	・国際機関に対する拠出・出資に関する H15 以降の評価予定は、ODA 関係省庁評価部門連絡会議の議論等を踏まえ、別途検討。
13	14	15	16	17	
当該政策の見直しに関する法令条項、計画					

1-II APECの人材養成分野の活動に対し協力すること

<実績目標>

・APECの人材養成分野での協力を通じて、アジア太平洋地域の職業能力開発の向上に貢献すること

【評価指標：APEC人材養成技能研修事業及びAPECのトータル能力開発研修事業の実施状況（研修修了者数、関係者からの評価等）】

評価予定					備考
H14	H15	H16	H17	H18	
実績	モ二	モ二	総合	実績	・H17の総合評価は、次期職業能力開発基本計画の策定の際に実施。
13	14	15	13-17	17	
当該政策の見直しに関する法令条項、計画					
・第7次職業能力開発基本計画が H17 に終了					

施策目標2 国際協力の促進により国際社会へ貢献すること

2-I 福祉医療分野における人材育成のための技術協力を推進すること

<実績目標>

- ・ 開発途上国の行政官の研修を通じて、開発途上国の社会開発に貢献すること

【評価指標：東南アジア諸国等福祉医療協力事業における研修生受入人数、東南アジア諸国等福祉医療協力事業における研修参加者からの事業評価】

- ・ 開発途上国の制度作りの立案・推進のための日本人人材養成研修を通じて、開発途上国の社会開発に貢献すること

【評価指標：東南アジア諸国等福祉医療協力事業における研修参加者人数、東南アジア諸国等福祉医療協力事業における研修参加者からの事業評価】

評価予定					備考
H14	H15	H16	H17	H18	
実績	実績	実績	実績	実績	
13	14	15	16	17	
当該政策の見直しに関する法令条項、計画					

2-II 労使関係、労働分野における人材育成のための技術協力を推進すること

<実績目標>

- ・ 開発途上国の健全な労使関係の構築に貢献する人材を確保すること

【評価指標：東南アジア諸国等労働関係協力事業における研修参加者からの事業評価、東南アジア諸国等労働関係協力事業における研修参加者数】

- ・ 開発途上国のIT人材の養成に貢献すること

【評価指標：ITに係る開発途上国を対象とした研修事業の実施状況（研修修了者数、関係者からの評価等）】

- ・ 開発途上国において職業訓練指導を担う者を養成すること

【評価指標：外国人留学生受入事業における外国人留学生の受入人数、帰国留学生の就職状況】

- ・ 開発途上国の労働者等の受入れを通して、開発途上国への技術移転を推進すること

【評価指標：国際技能開発計画及び外国人基礎技能研修生受入事業における受入人数、国際技能開発計画及び外国人基礎技能研修生受入事業における帰国研修生の復職、就職、待遇、昇進状況、集合座学研修を効果的に実施するための公共職業能力開発施設での集合研修実施支援人数、中小企業に対する日本語教育における支援研修生人数、セミナー参加者数、指導書等の作成数】

評価予定					備考
H14	H15	H16	H17	H18	
実績	実績	実績	実績	実績	
13	14	15	16	17	
当該政策の見直しに関する法令条項、計画					

2-Ⅲ 国際化に対応した安全衛生対策の推進を図ること（基本目標3施策目標2-Ⅳを参照）